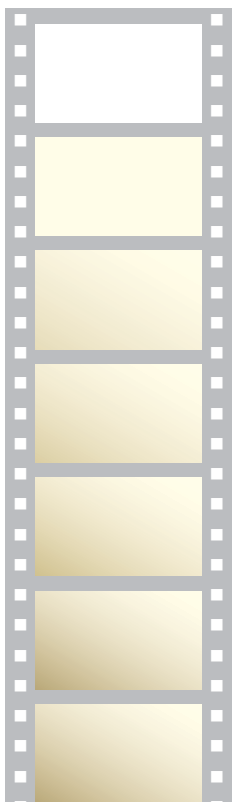


伸^{ノブ}さんのシネマトーク

鈴木 伸夫



第四回 「もう一本の60分西部劇」

もう一本の60分西部劇は「ローハイド」。「ローハイド」とは、牛の生皮のことで、カウボーイがはいているジーンズを守るため着けている袴のようなものです。今では、「ローハイド」の言葉だけでもカウボーイのことを意味します。

物語は、南北戦争後のアメリカ西部を舞台に、テキサス州サンアントニオから三千頭の牛を千数百キロ離れたミズーリ州のセダリアまで運ぶキャトルドライブ（牛の輸送）の話です。

南北戦争により、北部の牛が大量に消費され、東部の食肉価格が異常なほど値上がりしたため、安い北部の牛を東部の鉄道ターミナル駅まで飼育しながら三ヶ月から四ヶ月かけて運びました。「ローハイド」は、その旅の途中起きるさまざまな出来事を描きました。番組はローハイドの歌から始まり、CMのあと、ギル・フェイバー（エリック・フレミング）隊長のナレーション（小林修）が入ります。

「三千頭の家畜を追って果てない荒野を行く私たちカウボーイは、絶えず家畜の

トラブルやさまざまな危険にさらされながらも旅を続ける…(略)「大草原のなかで、あるいは、大砂じんのなかでキャトルドライブは続きます。その一行のなかに、今は巨匠と呼ばれるほどになった映画俳優であり映画監督のクリント・イーストウッドが副隊長として50年前、活躍していたのをご存じですか？

彼の役名は「ロデイ・イエーツ。」番組が終了する頃には隊長となりましたが、7年間出演しました。出番のない時はカメラのうしろに回り、将来映画監督になるために、映画製作のあらゆる面を勉強し、その基礎があつてこそいまのイーストウッドがあるのです。中学生だった頃は、フェイバーさんのリーダーシップにも惹かれましたが、ロデイの吹き替えをした山田康雄（初代ルパン三世の声）の吹き替えに入る「ぼやき」にも本音が入っていて好きでした。そもそも「ローハイド」は、48年製作のアメリカ映画「赤い河」（ハワード・ホークス監督、ジョン・ウエイン、モンゴメリー・クリフト出演）をテレビシリーズ化したものです。音楽は「ローハイド」と同じデイミトリ・ティオムキンが担当。彼は自ら映画音楽を担当した59年のアメリカ映画「リオ・ブラボー」（ハワード・ホークス監督、ジョン・ウエイン、

デイン・マーチン、リッキー・ネルソン、アンジー・ディッキンソン出演）でデイン・マーチンが歌う「ライフと愛馬」のメロディーだけを「赤い河」で使用しています。

ところで、「ローハイド」のなかでロデイが唄を歌うシーンがあります。第四シーズの「はるかなる夢路」というエピソードです。

酒場で開催されるコンサートに出演する女性歌手が時間に間に合わず、客がイライラしているのを見て手伝いに入ったコックのウィツシュボン（ポール・ブリンガー）に促されて、「ローハイド」の第二のテーマともいうべき歌をシリーズのなかで、ただ一度だけ歌ったのです。

♪ 夕陽のあなたに

作曲 ラス・ガルシフ

作詞 レニー・アデルソン

♪ 夕陽のかなたに あこがれの地がある

♪ 夕陽のかなたに 見たい顔がある

♪ 道は果てしなく 憩いの家を求め

♪ 夕陽のかなたに待つ人が

私を待つ人がいる

〈拍手〉

残念ながらオンエアはプロの歌手に差し替えられましたが、イーストウッドの音楽は独学で、ピアノも弾いて自作「センチメンタルアドベンチャー」では歌っています。また、若い頃「歌うミスターローハイド」というタイトルのLPレコードも吹き込んでいます。今年（5月31日）で80才になったイーストウッドですが（同輩

には、ジーン・ハックマン、ショーン・コネリー、物故者では1年後輩にジェームス・デイーンがいる）次々と新作を製作・監督し、私たちを楽しませてくれます。これは「ローハイド」時代からの努力が実を結んだよい結果であり、彼は観客の心を魅了するコツを知っている人だと、ぼくはファンの一人として思うのです。（了）

（文中敬称略）

伸

（平成22年8月）